

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-72	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅢ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
177 増進堂	CIII 717	FLEX ENGLISH COMMUNICATION III		

## 1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法の目的と理念に則り、かつ英語コミュニケーションⅢで示される目標に向けて、以下の3点を編修の基本方針とした。

### 1.4 技能（5領域）を有機的・複合的に設けた多様な言語活動

英語コミュニケーションⅠ、Ⅱで培ってきた「聞く」「読む」「話す（やり取り・発表）」「書く」技能を内容に応じてバランスよく配置しています。同時に、意見や主張、根拠や理由などを理解したり、あるいは表現したり、伝え合ったりする場面を取り入れることで、複数の技能を結び付けた統合的な言語学習を設けています。

### 2. 幅広いジャンルに富んだ題材、かつ、さまざまな立場を踏まえた内容

多様な社会を生きていく生徒にとって、英語を学習していくと同時に、人間として個性や生き方を尊重し合うことや、社会的、文化的側面から国際理解も高められるように、異なる種類の題材を用意しています。また一つの題材でも賛成や反対の両者の立場、長所や短所の利点と問題点を挙げるなど、議論する活動や自身の考えを伝える活動を通して、多面的かつ多角的に学習できるようにしています。

### 3. 知識・技能の習得→思考・判断・表現の育成→主体的に、学びに向かう力を育む一冊

知識・理解だけにとどまらず、学習を通して身につけた技能の習得、定着を図り、考え表現する力を伸ばすように、段階的に学習できるようにしています。またそうした学習の継続から、英語への興味や関心を高め、自ら学習に取り組む姿勢を育められるように工夫を凝らしています。

## 2. 対照表

図書の構成 ・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Skill 1	<p>① スポーツで勝利するためには、「ゾーン」に入ることが重要とされている。ゾーンに入ることでのどのような状態になるのか、またどのようにすれば、そのゾーンに入ることができるのか、その心理状態について追求していく思考を育成します。(第1号)</p> <p>② 食料不足への解決が国の発展につながると考えられている一方で、解決すべき課題が多くあります。そのような社会情勢や国際的な視野を踏まえて、どのような解決策が考えられるか、深く考える態度を養います。(第3,5号)</p>	7頁
Skill 2	<p>廃棄されたものを再利用し、楽器として使用しているパラグアイのカテウラリサイクル楽団について学びます。そのような廃棄物を利用した楽器を作るに至った背景や、その楽団の演奏がどのような影響を与えたのか、彼らの意義や国際社会に与えている影響について理解を深めます。(第2,5号)</p>	9頁

<b>Skill 3</b>	自然や生態系は人間によって破壊されているといっても過言ではないです。そうした状態を回復させようと「再野生化」という取り組みが進められています。その再野生化をもとにどのような利点や問題点があるのか、自然の重要性を学習し、今後の環境に対する視野を育みます。(第4号)	11 頁
<b>Skill 4</b>	ファッション産業は製造上、環境に危害を与えることで問題視されています。近年では「サステナブルファッション」という生産から着用、廃棄に至るまでのプロセスを考慮した取り組みが広まってきています。そうした社会情勢や環境への取り組みについて、自ら調査して学習していただけるように促します。(第4,5号)	13 頁
<b>Skill 5</b>	「フードドライブ」とは、食品をそのまま廃棄するのではなく、廃棄する前に必要としているひとたちに渡すことで、食品ロス改善につなげるという取り組みです。そうした取り組みをもとに、食品ロスに関わる社会問題について理解を深めます。(第3,4号)	15 頁
<b>Skill 6</b>	道路で見かける「止まれ」という標識は、錯視を応用したものです。錯視にはあらゆる種類があり、それらは実生活でも応用されています。どのような錯視が日常にあるのか、またその錯視はどのように活かされているのか、私たちの暮らしと錯視の関連について理解を深めます。(第1,3)	17 頁
<b>Lesson 1</b>	目の錯覚として知られる「錯視」について、物の捉え方、見え方を工夫した「錯視サイン」や「3D 横断歩道」など、それぞれの地域や文化をもとにした取り組みについて、多角的に物事を見て、どのような特徴や効果があるのかを考えていきます。(第5号)	20-23 頁
<b>Skill 7</b>	日本の在留外国人の増減に関するレポートをもとに、どのような原因で増加や減少が起きているのかを理解し、私たちの社会に取り巻く状況の変化などの理解を深めます。(第5号)	31 頁
<b>Lesson 2</b>	人口がどのようにして増加してきたのか、また今後増加することによる懸念など、歴史的背景を交えながら、どのようにして対応や解決策を見出すのか、より幅広い知識と教養を身につけていきます。(第1号)	34-37 頁
<b>Skill 8-9</b>	① 私たちの暮らしにはテクノロジーが欠かせないものとなっており、そのテクノロジーの恩恵がどのような場面で影響しているのか、幅広い視野を身に付けられるような態度を養います。(第1号) ② ソーシャルメディアの普及に伴い、情報の受け取り方が大きく変わりました。ただそうした情報には、誹謗中傷や偏見なく人を扇動するようなものもあり、情報を扱う際は、個々の意見を尊重していくことを大切に、自主及び自律の精神を養います。(第2,3号)	45 頁
<b>Lesson 3</b>	私たちが音楽を好きになる理由や、ある音楽がヒットする理由には、他者や外部からの評価によって大きく起因しているという研究の背景をもとに、個々人の価値や考え方を尊重する態度を養います。(第2号)	48-51 頁
<b>Skill 10</b>	桜に関する日本とワシントンの話から植物を尊び、自然や環境について深く考えさせる態度を養います。(第4,5号)	59 頁
<b>Lesson 4</b>	当時の日本政府の命令に背いてまでも、人々を助けるために最後までビザを発行し続けた杉原千畝氏の勇氣ある行動が、多くの人々を救ったというエピソードを通して、信念を貫き、他人のために勇氣をもって行動することの大切さを学びます。(第3,5号)	62-65 頁

<b>Skill 11</b>	<p>① フェアトレードを行う際の基準について、どのような基準が必要とされているのか、その規則について深く学んでいきます。(第1号)</p> <p>② ある種の蝶は、生物の中でも珍しく移住する特性を持っています。その特性にはどのような理由があるのか、生物の特長について理解を深めさせたい。(第4号)</p>	73 頁
<b>Lesson 5</b>	蝶の持つ驚くべき生態について学習し、生命の持つ力強さやどのようにして進化してきたのかなど、動植物や環境への理解を深めていきます。(第4号)	76-79 頁
<b>Skill 12</b>	③ モン族と呼ばれる部族は、その部族の文化や周りの自然などをモチーフにした柄の衣装を身に付けています。少数民族ならではの伝統や文化などに触れ、国際観を育みます。(第5号)	87 頁
<b>Lesson 6</b>	江戸時代の画家である伊藤若冲氏の絵画が現代になって人気となった背景について、歴史的な絵画をもとに、社会全体へ寄与したという内容から、伝統や文化を尊重する精神を育みます。(第5号)	90-93 頁
<b>Skill 13</b>	<p>① 言語学習において、若い世代の方が習得しやすく、また発音についても若い学習者の方が有利であるとされる。そうした意見から個々の価値や能力の違いを尊重し合う、理解する態度を育てていきます。(第2号)</p> <p>② スウェーデンのとあるモールでは、リサイクル、リユース、アップサイクルされた商品売り出しており、そうした取り組みが国に対してどのような影響を及ぼしているのか、社会的側面と国際的な側面の両面を踏まえて、理解を深めていきます。(第3,5号)</p>	101 頁
<b>Lesson 7</b>	製品量が増大した現代社会では、大量生産・大量消費の速度が増してきており、環境問題の原因となっています。そうした問題への解決の糸口として、江戸時代の考えを参考に、これからの社会への発展を寄与する態度を育成します。(第3号)	104-107 頁
<b>Skill 14</b>	① 気候変動における問題を訴えたある人物がいますが、その訴えた内容に偽りがあるということで問題となりました。嘘の情報についてどのように受け止めるのか、個々の考えを尊重しながら、考えを深めていきます。(第2,4号)	115 頁
<b>Lesson 8</b>	人がなぜ嘘をつくの、嘘をつくメカニズムについて、いくつかの研究を踏まえてその理由を紐解いていきます。嘘をつく人間の心理や嘘をつかれた側の心理について理解を促します。(第2号)	118-121 頁
<b>Skill 15</b>	<p>① 日よけや住居にも使える木は、人間にとっても他の動物にとっても、有益なものです。そうした当たり前の自然を大切にしていこう態度を養い、自然を大切にする精神を学びます。(第4号)</p> <p>② 「動物福祉」という考えは、近年高まってきており、単に餌を与えることだけでなく、なるべく野生環境に近い状態になるような広さも求められます。動物の生き方を尊重していく態度を育成し、生命の尊さを学びます。(第4号)</p>	129 頁
<b>Lesson 9</b>	動物の保全やその生態の研究などを主とした動物園について賛成派と反対派の両者の立場を踏まえ、生命を尊び、生き物や自然を大切にしていこう態度を育成します。(第4号)	132-135 頁
<b>Skill 16</b>	① 街中の空気を改善させるための方法として、さまざまな策が考えられる。どのような方法が思いつくか、環境改善に	143 頁

	<p>対する理解を深めます。(第3,4号)</p> <p>② 養殖の方法にはいくつかの種類があります。海上様式や陸上様式などさまざまな方法はあるものの、それぞれに長所と短所があります。どのような点が挙げられるのか、生物の保全に対する意識を高めます。(第4号)</p>	
<b>Lesson 10</b>	<p>クロマグロの完全養殖に成功した近畿大学の研究の裏側にあるたゆまぬ日々の研究努力や、魚の養育に対する情熱を通し、生き物の生命を尊ぶ態度を育成します。(第2,4号)</p>	146-149 頁
<b>Skill 17-18</b>	<p>① 困難な状況に置かれても、信念を貫き通すことの大切さをスティーブ・ジョブズの生き方を通して深く考えていきます。(第1号)</p> <p>② 世界種子貯蔵庫は、あらゆる植物の種子が保存されており、あらゆる危機的な日に耐えるように、終末の日に備えたとされています。人類の存亡を踏まえて、そうした取り組みについて考えを深めていきます。(第2,4号)</p>	157 頁
<b>Lesson 11</b>	<p>今日の人間に至るまでの成長過程を振り返り、人間がどのように地球上の中で優位な立場になり得たのか、進化の過程を通して、社会の形成とその発展に寄与する姿勢や真理を求める態度を育みます。(第1,3号)</p>	160-163 頁

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

#### ① 昨今、重要視される課題を題材にした点

観 点	特 色
① SDGs に関連した社会問題や環境問題	◆世界各地で起きている社会、環境などの諸問題に対して、どのように対応、解決していくべきかを考えさせるような題材を選定しました。持続可能な社会や自然の実現を目指して、学習に意欲的に取り組められる内容を設定しています。
② 人権や考えの多様性を挙げた内容	◆「杉原千畝 (Lesson 4)」や「ヘレン・ケラー (Optional Reading)」など、人権に関する内容や障害をもった人物の生き様など、生徒が今後も考えていくべき内容を提示し、これからの社会に向けて、人間力を高めていけるような題材を選定しています。
③ 伝統や歴史などの文化的価値	◆上記題材以外に、歴史や伝統、文化、芸術に関わる内容も紹介し、自国、他国との違いを受け入れ、それぞれの国の良さに気づき、さらなる視野を広げられるように理解を促しています。

## ②主体的に学習に取り組められるような特色

観 点	観 点
1 Skill と Lesson の内容の連動性	<p>◆各 Skill ページでは、リーディングだけでなくライティングやスピーキングに使用できる要素を提示しています。その提示された要素は、各 Lesson の英文中や活動内でも使用されており、1度学習した内容を繰り返し使用させるように促すことで、定着につなげられるようにしています。</p>
2 多岐にわたる発信、記述形式の活動問題	<p>◆各 Skill ページで提示している題材は、後続の Lesson の内容と関連した題材を取り上げています。Skill ページの題材を理解することで、スキーマの活性化につながり、各 Lesson の内容がより理解しやすくなります。</p> <p>◆各 Skill, Lesson では与えられた題材をもとに、ペアでのやり取りやクラス内での発表、あるいは題材に対しての自身の意見を記述するなど、多岐にわたる活動を用意しています。</p> <p>◆各活動問題でも、与えられた題材の反対派の意見など、さまざまな視点の内容を与えることで、生徒の知識がより深まり、ペアやグループ活動、英文を記述していく際に、異なる角度から物事を捉えることで思考力や判断力、表現力が深まっていきます。</p> <p>◆これらの提示された題材や多岐わたる活動を通して、継続して学習に向かう力を育ませ、自己調整を行いながら主体的に取り組む態度を育成していきます。</p>

## ③生徒の学習を促す配慮

観 点	特 色
1 生徒が学習しやすくなるような工夫	<p>◆本書の文字色や指示文について、弱視の生徒などに広く対応できるように黒色の文字で基本示し、また指示文はどのような問題に取り組むべきかを理解するために、ゴシック系の文字を使用しています。</p> <p>◆随所に題材に関連する写真や挿絵を配置することで、生徒の理解を促しています。</p> <p>◆各 Lesson に設けられている Topic Task, Final Task のページでは、教員の進行や生徒の活動をサポートできるように、ある一定の例を示しています。</p>
2 生徒の個人学習を促す取り組み	<p>◆本文に記した二次元コードを各種機器で読み取ることにより、各 Skill ページ、後続の Lesson の英文、新出語の音声を聞けるため、生徒の好きなタイミングで学習することができます。</p>

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

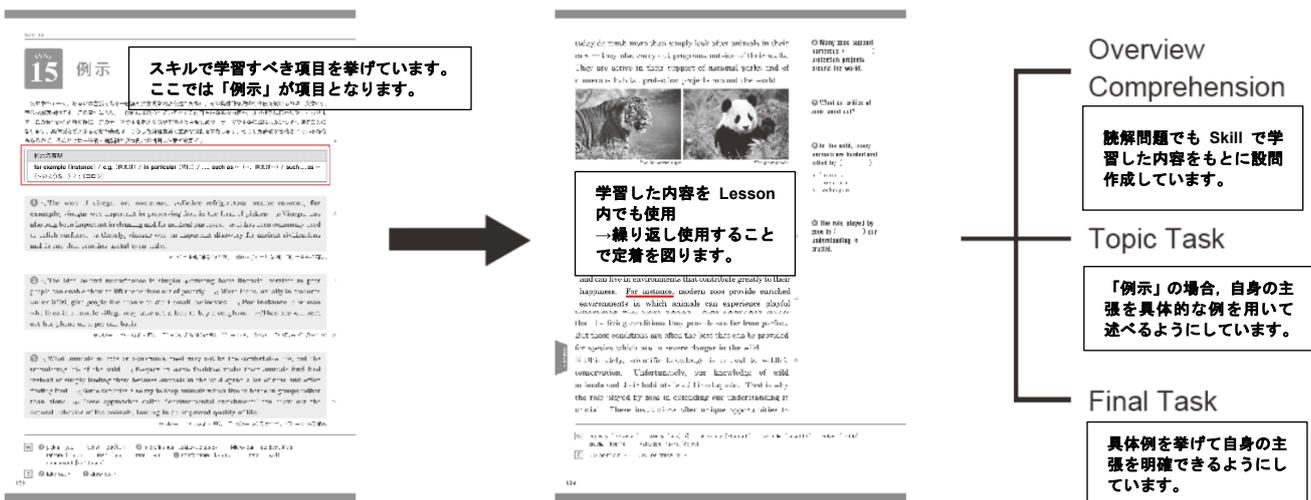
※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-72	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅢ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
177 増進堂	CIII 717	FLEX ENGLISH COMMUNICATION III		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### 特色 1 Skill から Lesson へ—基礎となる情報から英文へ

Skill では 4 技能に応用できる基礎的な情報を網羅できるように、各 Skill で学ぶ項目は、英文中に適宜盛り込んでいます。

Skill で学習したことを即座に使用・確認できるように、後続の Lesson の英文や問い、さらには Topic Task, Final Task といったページまで連動して Skill の内容を使用しています。学習した Skill の内容をより継続して言語使用することで、さらなる定着を図ります。



### 特色 2 4 技能 (5 領域) をバランスよく配置

#### —学習した知識・技能から思考・判断・表現の応用へ

Skill, Lesson では提示された英文から内容理解, そしてやり取りやライティングなどの活動へつなげていきます。

また、随所にあらゆる技能を使用する場面を設けており、1つの技能だけに限らず、複数の技能を用いた問いも用意しています。聞き取った、あるいは読み取った情報から得た知識や技能を踏まえ、ペアやグループでの意見交換や発表、自身の意見を記述するライティングなど、意図的に複数の技能を用いることで、思考・判断・表現を用いるようにしています。

LESSON  
**2**

**Before Reading**

Listen to the speech and answer the questions.

1 Why is Japan's population currently decreasing?

A. Its birth rate is lower than 2.0.  
B. Its population is moving to other regions.  
C. Its death rate has gone up in recent years.

2 Which of the following is true about Niger and Sierra?

A. Their birth rates are exactly high enough to keep their current populations.  
B. Their population growth rates are similar to those in other developing countries.  
C. Their population growth will slow down over the next few years.

Niger (ni:zhe)    Sierra (si:ri:ah)    death (de:th)    region (ri:zjən)    exactly (i:kzətli)    growth (grəʊθ)

• **Before Reading**

左記は本文の内容に入る前の導入のリスニングタスクになります。関連する内容を聴き、スキーマの活性化や、設問ではペアで考えて取り組むことも可能です。

**Expanding World Population**

Anthropologists believe that the human species is about three million years old. For most of that history, the population has stayed relatively low. It is estimated that as recently as 10,000 years ago, the number of humans on earth was no more than 10 million. As of 2021, however, the number has reached 7.8 billion. This sharp increase began with several technological milestones in history.

The first of these milestones was the development of agriculture around 10,000 B.C. Before this revolution, humans lived as hunters and gatherers. Since hunting and gathering for food was dangerous and inconsistent, this way of life kept their total numbers small. On the other hand, compared to hunting and gathering, agriculture was safe and provided a regular food source. Communities that could support more people evolved. As a result, the total population of the world began going up, and this trend continued for thousands of years. Ten thousand years later, by 1 A.D., the world population had expanded to about 300 million.

This growth continued until the second great technological milestone came in the 18th century: the Industrial Revolution. Due to advances in technology, work that had previously been done by human hands began to be done by machines. New farming and transportation equipment expanded the food supply. Healthcare and living standards improved. Consequently, people began to live longer lives. The rapid increase in population at this time was not a result of a higher birth rate, but of a lower death rate. The number of people climbed to about 700 million by 1750 and reached one billion by 1900.

While the development of agriculture and the Industrial Revolution led to a higher human population, by far the fastest growth occurred after World War II. Between 1950 and 2000, the world population increased from 2.5 billion to over 6 billion. Most of this growth happened in less-developed countries. Their populations doubled again and again. A billion people were added between 1960 and 1975.

What improved in health care during the Industrial Revolution?

During the Industrial Revolution, people's...  
a. birth rates  
b. death rates  
c. life spans

How much did the world population increase between 1750 and 1900?

Between the end of World War II and 2000, the world population grew fastest in...  
a. developed countries

**Questions**

1 The world population began increasing due to...  
a. advanced technology

2 Prior to the development of...  
a. hunting and gathering

**Answers**

1 b. death rates  
2 a. hunting and gathering

• **各 Lesson 本文**

Lesson の本文は見開き構成で、全4ページで本文が掲載されています。側注の内容理解問題を解きながら、内容を詳しく理解していきます。

また、本文中には内容に関連する写真も多く配置しています。写真から内容の推測をしたり、またビジュアルでの支援により、生徒の理解を促します。

**Final Task**

There are serious problems caused by population growth, as mentioned above. Think about the 100s to relate to the problem of population growth, and select the best ones.

**GOALS**

- Identify the main idea.
- Identify the main points.
- Identify the supporting details.
- Identify the conclusion.
- Identify the author's purpose.

1 Choose one of the 100s related to population growth. Goal: \_\_\_\_\_

2 How is this goal you chose related to the problem above? \_\_\_\_\_

3 Use the 100s related and write down the problem and suggest based on the goal. \_\_\_\_\_

4 As a group, find out what some countries are doing to help address their goals, and compare them with your own idea. \_\_\_\_\_

• **Topic Task**

Topic Task では、Lesson の内容に応じた各技能を複合的に扱う問いを設けています。

- ①では、リスニングを通して、グラフの内容を読み取ります。
- ②では、グラフの内容に関連した記事を読み、それに対する自身の考えを述べるタスクとなっております。

**Topic Task**

The following figure shows the expected population growth of Africa in 2050. Listen to the explanation based on this figure and write about the future below. Then share your thoughts in pairs.

1 Read the passage below and write down the problems caused by the population increase. Then share about the conditions and share them with your partner.

**Problems:** \_\_\_\_\_

**Solutions:** \_\_\_\_\_

It has not been possible to provide employment to all. Increased population means more demands to find. Developing countries with rapid growing population are facing more problems of this kind. People spend most of their income on helping up their children, so they cannot save money and remain poor. Rapid population growth also leads to the environmental change. People cut down trees for cultivation and other uses and over-exploitation, resulting in polluted air and water.

• **Final Task**

Final Task では、Lesson の内容に関連しつつも、さらに幅広い国際的な問題や将来的な展望を見据えた解決策などをグループで取り組みます。やり取りだけでなく、グループで考案した内容を発表することもあります。

**特色 3** 段階的に学習できる構成—学びに向かう力を後押し

本書では、上記で示したように、題材のバリエーションだけでなく、各技能を適宜配置し、かつ複合的に技能を用いる問いも設けています。

一方で、単に扱うべき技能を設けただけでは、実際に問題や活動に取り組む生徒にとっては難しく感じる部分もあります。適切なインプットを欠いて、唐突に「～について話し合いなさい」や「～について自身の意見を書きなさい」といった問いだけでは、負荷が重く、かえって生徒の学習に向かう姿勢を損ねる可能性もあります。そうした懸念事項を避けるために本書では、インプットからアウトプットへ

と段階的に学習できる作りを踏襲することで、学習した知識を用いながら順番に取り組むことができます。またその段階的な学びで、生徒がどこでつまづいているのか、生徒自身が顧みることができ、主体的に学習に向かう姿勢を意識づけることができます。

①



- ・ 本文に関連した音声の聞き取り
- ・ 音声内容をもとにした理解問題



- スキーマの活性化
- Lesson への導入

②

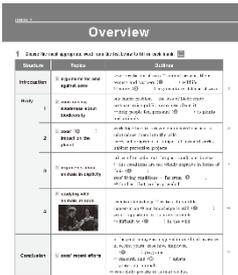


- ・ 本文では議論しやすいトピックを選定  
(例) 動物園の保全についての賛成派の意見等



- 知識・技能の習得
- 本文内容へのアプローチ

③

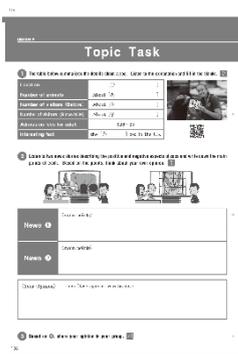


- ・ 本文内容をパラグラフごとに概要を図形式で整理
- ・ 主題を問う問題や Skill に基づいた連動型の問題を用意



- 思考・判断・表現を用いた応用問題

④

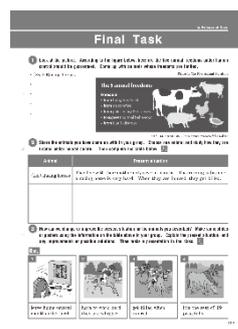


- ・ 段階的なアウトプット活動  
(例)
- ①リスニングによる動物園の現状を把握
- ②動物園の賛成、反対意見のニュースを聞く、聞いた内容を整理
- ③②の内容をもとにグループで議論



- さらなる思考・判断・表現の活用
- 主体的に学習に向かう力を養う

⑤



- ・ 学んだ知識をさらに応用  
(例)
- ①動物の自由が制限されている動物をリストアップ
- ②①で挙げた動物の実情を調査、共有
- ③②で共有した情報をクラス全体に発表



- 学習を通して得た内容を最大限に活用
- 複数の技能を用いた問題への取り組み

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容		該当箇所	配当 時数
	2 内容	3 内容の 取扱い		
Skill 1, Use the Skills	(1)ア,イ,ウ (2)ア,イ,ウ (3)①ア,イ,ウ,エ ②ア(イ),イ(ア) イ(ウ)(エ)(オ)	(1)(2)	6-7	1
Skill 2, Use the Skills	(1)ア,イ,ウ (2)ア,イ,ウ (3)①ア,イ,ウ,エ ②ア(ア),イ(ア) イ(ウ)(エ)(オ)	(1)(2)	8-9	1
Skill 3, Use the Skills	(1)ア,イ,ウ (3)①ア,イ	(1)(2)	10-11	1
Skill 4, Use the Skills	(1)ア,イ,ウ (2)ア,イ,ウ (3)①ア,イ,ウ,エ, カ ②ア(ア)(イ),イ ア(イ)(ウ)(エ) オ	(1)(2)	12-13	1
Skill 5, Use the Skills	(1)ア,イ,ウ (2)ア,イ,ウ (3)①ア,イ,ウ,エ ②ア(ア)(ウ),イ ア(イ)(ウ)(エ) オ	(1)(2)	14-15	1
Skill 6, Use the Skills	(1)ア,イ,ウ (2)ア,イ,ウ (3)①ア,イ,ウ,オ, カ ②ア(ア)(イ),イ ア(イ)(ウ)(エ)	(1)(2)	16-17	2
Lesson 1 Before Reading Questions W, E, G Overview Comprehension Topic Task Final Task Rapid Reading TRUE OR FALSE	(1)ア,イ,ウ,エ (2)ア,イ,ウ (3)①ア,イ,ウ,エ, オ ②ア(ア)(イ),イ ア(イ)(ウ)(エ) オ	(1)(2)	18-19 20-23  24 25 26 27 28-29	7
Skill 7, Use the Skills	(1)ア,イ,ウ (2)ア,イ,ウ (3)①ア,イ,ウ,エ ②ア(ア)(イ),イ ア(イ)(ウ)(エ)	(1)(2)	30-31	1
Lesson 2 Before Reading Questions W, E, G Overview Comprehension Topic Task Final Task Rapid Reading TRUE OR FALSE	(1)ア,イ,ウ,エ (2)ア,イ,ウ (3)①ア,イ,ウ,エ, オ ②ア(ア)(イ),イ ア(イ)(ウ)(エ) オ	(1)(2)	32-33 34-37  38 39 40 41 42-43	7
Skill 8-9, Use the Skills	(1)ア,イ,ウ (2)ア,イ,ウ	(1)(2)	44-45	1

	(3)①ア,イ,ウ,エ ②ア(ア)(イ),イ (ア)(イ)(ウ)(エ) (オ)			
Lesson 3 Before Reading Questions M, E, G Overview Comprehension Topic Task Final Task Rapid Reading TRUE OR FALSE	(1)ア,イ,ウ,エ (2)ア,イ,ウ (3)①ア,イ,ウ,エ, オ ②ア(ア)(イ) (ウ),イ(ア)(イ) (ウ)(エ)(オ)	(1)(2)	46-47 48-51  52 53 54 55 56-57	7
Skill 10, Use the Skills	(1)ア,イ,ウ,エ (2)ア,イ (3)①ア,イ,ウ,カ ②ア(ア)(イ),イ (ア)(イ)(ウ)(エ)	(1)(2)	58-59	1
Lesson 4 Before Reading Questions M, E, G Overview Comprehension Topic Task Final Task Rapid Reading TRUE OR FALSE	(1)ア,イ,ウ,エ (2)ア,イ,ウ (3)①ア,イ,ウ,エ, オ ②ア(ア)(イ) (ウ),イ(ア)(イ) (ウ)(エ)(オ)	(1)(2)	60-61 62-65  66 67 68 69 70-71	7
Skill 11, Use the Skills	(1)ア,イ,ウ (2)ア,イ,ウ (3)①ア,イ,ウ,エ, カ ②ア(ア)(イ),イ (ア)(イ)(ウ)(エ) (オ)	(1)(2)	72-73	1
Lesson 5 Before Reading Questions M, E, G Overview Comprehension Topic Task Final Task Rapid Reading TRUE OR FALSE	(1)ア,イ,ウ,エ (2)ア,イ,ウ (3)①ア,イ,ウ,エ, オ,カ ②ア(ア)(イ) (ウ),イ(ア)(イ) (ウ)(エ)(オ)	(1)(2)	74-75 76-79  80 81 82 83 84-85	7
Skill 12, Use the Skills	(1)ア,イ,ウ,エ (2)ア,イ,ウ (3)①ア,イ,ウ,エ ②ア(ア)(イ),イ (ア)(イ)(ウ)(エ) (オ)	(1)(2)	86-87	1
Lesson 6 Before Reading Questions M, E, G Overview Comprehension Topic Task Final Task Rapid Reading TRUE OR FALSE	(1)ア,イ,ウ,エ (2)ア,イ,ウ (3)①ア,イ,ウ,エ, オ,カ ②ア(ア)(イ),イ (ア)(イ)(ウ)(エ) (オ)	(1)(2)	88-89 90-93  94 95 96 97 98-99	7
Skill 13, Use the Skills	(1)ア,イ,ウ (2)ア,イ,ウ (3)①ア,イ,ウ,エ ②ア(ア)(イ) (ウ),イ(ア)(イ)	(1)(2)	100-101	1

	(ウ)(エ)(オ)			
Lesson 7 Before Reading Questions M, E, G Overview Comprehension Topic Task Final Task Rapid Reading TRUE OR FALSE	(1)ア,イ,ウ,エ (2)ア,イ,ウ (3)①ア,イ,ウ,エ, オ,カ ②ア(ア)(イ) (ウ),イ(ア)(イ) (ウ)(エ)(オ)	(1)(2)	102-103 104-107  108 109 110 111 112-113	7
Skill 14, Use the Skills	(1)ア,イ,ウ (2)ア,イ,ウ (3)①ア,イ,ウ,オ, カ ②ア(ア)(イ),イ (ア)(イ)(ウ)(エ) (オ)	(1)(2)	114-115	1
Lesson 8 Before Reading Questions M, E, G Overview Comprehension Topic Task Final Task Rapid Reading TRUE OR FALSE	(1)ア,イ,ウ,エ (2)ア,イ,ウ (3)①ア,イ,ウ,エ, オ,カ ②ア(ア)(イ) (ウ),イ(ア)(イ) (ウ)(エ)(オ)	(1)(2)	116-117 118-121  122 123 124 125 126-127	7
Skill 15, Use the Skills	(1)ア,イ,ウ (2)ア,イ,ウ (3)①ア,イ,ウ,エ ②ア(ア)(イ),イ (ア)(イ)(ウ)(エ) (オ)	(1)(2)	128-129	1
Lesson 9 Before Reading Questions M, E, G Overview Comprehension Topic Task Final Task Rapid Reading TRUE OR FALSE	(1)ア,イ,ウ,エ (2)ア,イ,ウ (3)①ア,イ,ウ,エ, オ ②ア(ア)(イ),イ (ア)(イ)(ウ)(エ) (オ)	(1)(2)	130-131 132-135  136 137 138 139 140-141	7
Skill 16, Use the Skills	(1)ア,イ,ウ,エ (2)ア,イ,ウ (3)①ア,イ,ウ,エ, カ ②ア(ア)(イ) (ウ),イ(ア)(イ) (ウ)(エ)(オ)	(1)(2)	142-143	1
Lesson 10 Before Reading Questions M, E, G Overview Comprehension Topic Task Final Task Rapid Reading TRUE OR FALSE	(1)ア,イ,ウ,エ (2)ア,イ,ウ (3)①ア,イ,ウ,エ, オ,カ ②ア(ア)(イ),イ (ア)(イ)(ウ)(エ) (オ)	(1)(2)	144-145 146-149  150 151 152 153 154-155	7
Skill 17-18, Use the Skills	(1)ア,イ,ウ (3)①ア,イ,ウ	(1)(2)	156-157	1
Lesson 11 Before Reading Questions M, E, G Overview	(1)ア,イ,ウ,エ (2)ア,イ,ウ (3)①ア,イ,ウ,エ, オ	(1)(2)	158-159 160-163  164	7

Comprehension	② ア(ア)(イ)		165	
Topic Task	(ウ),イ(ア)(イ)		166	
Final Task	(ウ)(エ)(オ)		167	
Rapid Reading TRUE OR FALSE			168-169	
Optional Reading, <input type="checkbox"/> W	(1)ア,イ,ウ (3)①ア,ウ,エ,オ, カ	(1)(2)	170-173	3
			計	96

※は各学校で弾力的運営を想定している。